

都市計画道路に関する市長との意見交換会で提出された意見・質問の要旨及び市の見解について（後日提出意見）

後日提出された意見・質問の要旨及び市の見解について、下記のとおりです。

番号	御意見・御質問の要旨	御意見・御質問に対する市の見解
1	19:30頃のやりとりだったかと思うが、白井市長は、道路計画をすすめることによる自然破壊について“破壊”には当たらない、自分としては破壊とは考えていない、というような発言をされた。 このような発言は、言葉そのものの意味をねじまげるもので、市長はご自身の態度を変えたことで自然を壊そうとしているその前に、政治・社会の根幹である“言葉”そのものをすでに破壊している。 ご自身なりの理由で、お考えを変えたのなら、自然を破壊してでも、自分は道路をつくる方が良いのだと明確に示すべき。そしてもし、そんなさるのであれば、それは明らかな公約違反であるから、あらためて選挙によって市民の是非を問わなければならない。 どんな仕事であれ、その仕事につくときに課された職務を果たすことができなくなれば、その職を失うのは当然のことである。 現在の権力の座を利用して、公約に反しながら市長をつづけるならば、白井市長は“言葉”“自然”“市民社会のしくみ”その全てを破壊することになる。 白井市長はいろいろなご発言の中で、“市民の命と財産を守る責務”という言葉をしきりにくりかえしておられた。野川周辺の貴重で豊かで美しい自然こそ、まぎれもない、かけがえのない私にとって、私たちにとって守りたい、守ってほしい財産である。自然という、人間に作ることでできない唯一無二の財産を守りつづけるために市長の力を寄せてほしい。市民と力を合わせて、今ある自然を守ってほしい。 自然こそが、全ての命を育んでいることを思い出してほしい。	当日の意見交換会においては、「自然を破壊することについて、どのように考えているのか。」との御質問をいただき、それに対する回答といたしましては、「私は破壊することについては認めにくいですが、環境の影響をできるだけ軽減できるようにできないかということを追求したいと考えております。」と回答しております。 頂いた御意見は、御意見として承ります。

※1 御意見・御質問は、提出者ごとに番号で整理しています。

※2 御意見・御質問の内容は、体裁を整えて記載しています。また、個人が特定できる内容等については削除しています。